

## 日本体育学会第66回大会を開催して

### Report on the 66<sup>th</sup> Conference of Japan Society of Physical Education, Health and Sport Sciences

角田 直也\*, 池田 延行\*\*, 田中 重陽\*\*\*

Naoya TSUNODA\*, Nobuyuki IKEDA\*\* and Shigeharu TANAKA\*\*\*

#### I. はじめに

一般社団法人日本体育学会第66回大会が、2015年8月25日（火）から27日（木）までの3日間にわたり、本学世田谷キャンパス及び世田谷区民会館で開催された。本学が主管校として開催するのは、昭和45年（1970年）以来、45年ぶり2度目であった。

大会開催にあたっては、文部科学省、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会をはじめ多くの外部組織・団体等からの後援を戴いた。また、体育学部を基盤とした国士舘大学体育・スポーツ科学学会からも後援並びに記念事業の共催を戴いた。

第66回学会大会開催が決定される直前に、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定した。そこで、スポーツ競技力向上、体育・スポーツ教育及び国民のスポーツ・文化の高揚に関する体育・スポーツ科学研究の役割について再考することを狙いとし、「2020東京オリンピック・パラリンピックと体育・スポーツ科学研究」を大会のテーマに設定した。

学会本部、大会組織委員会、全国大学体育連合

との共催企画及び各専門領域による多数の企画が施され、参加者は、3,000人を超す大変大きな学会大会であった。

#### II. 大会準備と演題申し込みについて

第66回大会は、関東ブロックでの開催が予定されており、東京地域の理事会で主管校を国士舘大学に決定した。本学での学会大会開催が決定した後、平成26年（2014年）6月に国士舘大学体育学系の教員と東京地域の会員を中心とした組織委員会を設置した。その後、実行委員会を組織し、大会テーマと日程、会場の決定及び大会運営等について検討した。

広報については、第65回大会時に広報用小ポスターを配布した。また、全国の体育・スポーツ・健康科学系大学、研究機関及び後援を戴いた組織・団体への学会大会広報ポスターを作成し配布した。さらに、東京都教育委員会及び世田谷区に対して公開シンポジウム用のポスターを作成し掲示を依頼した。

大会専用のホームページを、2014年12月に開設し、随時情報を公開した。オンラインによる総演題申込数は、812演題でありこれまでの学会大

\* 大会組織・実行委員会 委員長, 体育学部 教授

\*\* 大会組織・実行委員会 副委員長, 体育学部 教授

\*\*\* 大会組織・実行委員会 事務局, 政経学部 講師

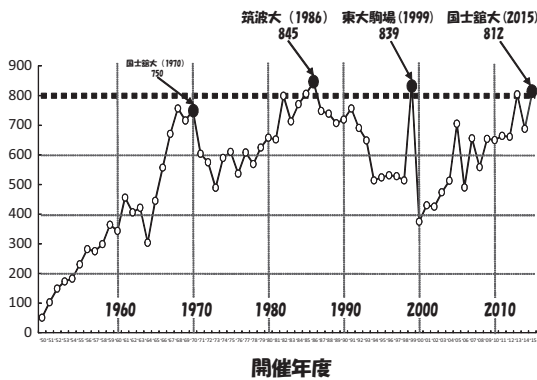


図1 日本体育学会における演題申込数の推移

会では3番目、私学での開催では最も多い演題数を確保することができた(図1)。

### Ⅲ. 学会大会プログラムについて

本学会大会では、学会本部企画、大会組織委員会企画、共催企画及び各専門領域による企画による学術シンポジウム等が3日間に亘り実施された。

本部企画として、政策検討・諮問委員会ダイバシティ推進小委員会が企画したキーノートレクチャー・パネルディスカッション、体罰・暴力根絶特別委員会が企画したシンポジウム、全国大学体育連合との共催企画としてシンポジウム、最終日の若手研究者を対象とした優秀な研究発表の表彰式に先駆けて、若手研究者交流会等がそれぞれ開催された。

大会組織委員会企画としては、東京地域と連携し公開シンポジウムを2つ開催した。公開シンポジウムⅠでは“1964東京オリンピック”をテーマとし、1964年当時のメダリスト、スポーツ関係者及びスポーツ科学研究者の諸氏に登壇して戴いた。また、公開シンポジウムⅡでは、“2020東京オリンピック・パラリンピック”をテーマに設定し、大会を開催する立場、選手を強化する立場、パラリンピックメダリストの立場及びスポーツ科学研究者の立場からご講演を戴いた。その他の大



公開シンポジウムの様子



学際的シンポジウムの様子



機器展示及びポスター研究発表会場の様子

会組織委員会企画として、2つの学際的シンポジウム、4つのランチョンセミナーが開催され、各会場とも多数の参加者を得た。

#### Ⅳ. 学会大会開催記念企画について

日本体育学会第66回大会期間中に、大会開催記念企画として、特定非営利活動法人「かけっこ未来塾」及び体育・スポーツ科学学会が主催する「かけっこ&スロージョギング教室」が開催された。

25日に開催されたスロージョギング教室では、スロージョギングの特徴と効果に関する講義と、実践を取り入れた実技講習が行われ、58名の参加があった。26日、27日実施したかけっこ教室には、世田谷区及び神奈川県在住の小学生199名の参加があった。参加者（小学生、成人）の熱心で真面目な受講ぶりや引率保護者の熱意からも、「かけっこ教室」「スロージョギング教室」に対する需要が高いことが感じられた。



スロージョギング教室での講義



スロージョギング教室実技講習

#### Ⅴ. 学会を終えて

本学会大会には、事前参加申込者が1,679名、当日参加者が1,313名あり、合計2,992名の参加登録があった。その内訳としては、会員が1,979名、非会員が1,003名であった。その他、後援組織団体の関係者、広告協賛・機器図書展示でご協力戴いた企業関係者及び無料の一般来場者を含めると、約3,000名を越す方々の参加があった。

特に昭和45年の前回開催にも参加されたご高齢な先生方より“国士舘大学の変貌の素晴らしさ”についてお褒めの言葉を戴き大変光栄に感じた学会大会開催であったと感じている。

学会大会を開催するにあたり、学校法人国士舘、国士舘大学体育・スポーツ科学学会からの多大なる支援を戴いた事に深く感謝申し上げる次第である。



かけっこ教室実技指導